

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-3-5	事務事業名 公民館まつり	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	-----------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 地域との連携、協力を強固なものとし、活動の活性化とその核となる公民館の充実を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)公民館事業の実施(地域交流活動事業の実施)
	実施内容、実施方法 実行委員会を組織し、調整を図りながら内容を検討している。平成16年度は、講談、民族舞踊、(インドネシア)等を取り上げ、盛況のうちに終わった。	根拠法令等
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(実行委員会)

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 公民館まつりを開催した回数
	成果指標名 参加団体数	成果指標の考え方(定義) 公民館まつりに参加した団体数(個人を含む)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		518	549	483	343	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		518	549	483	343	
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,343	1,376	1,316	1,176	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (開催回数)	千円	447.53	458.77	438.60		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			3	3
		実績値	回	3	3	3	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	団体			147	147	
	実績値	団体	133	128	138		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 13-3-5	事務事業名 公民館まつり	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	-----------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	参加者も毎年増え、地域のまつりとして定着している。特にこの地域は、近年開発が盛んで新住民との交流が必要な地域でもある。このまつりはその役割を十分果たしている。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	旧住民と新住民の交流の場としてその役割は大きい。今後も実行委員会等を組織し、その役割を果たす必要がある。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	実行委員会が主体的に地域の祭りとして、運営することで人的及び費用の面で効率性が高いものとなっている。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民が主体的に実行委員会を組織し、公民館と市民の協同により行っている。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	地域の活性化につながるものとして、この事業の果たす役割は大きい。今後も地域と連携を持ちながら充実を図る。

17年度における改善点	参加団体拡大、若年層の確保
-------------	---------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。